

## 令和2年度 必読書・推薦図書リスト

この3年間、「読むスポーツ」というテーマで本を選んできましたが今年がその最後になりました。競技者本人の言葉が読めるものに加えて、外国人を迎える日本がわかるものを選びました。

書名	作者名	出版社	概要
頂点への道	錦織圭	文藝春秋	09年からの苦闘を自ら綴った本。
大坂なおみ世界No. 1に導いた77の言葉	児玉光雄	楓書店	大坂選手はいかに成長していったのか。キーになる77の発言をスポーツ心理学で分析。
夢をつかむイチロー262のメッセージ	イチロー	ぴあ	イチローがメジャー生活4年間に発したメッセージの中から選ばれた262の言葉。
夢を跳ぶ：パラリンピック・アスリートの挑戦	佐藤真海	岩波書店	さまざまな困難を乗り越え、新たに挑戦を続ける女性アスリートの手記。
オリンピック・パラリンピックを学ぶ	後藤光将	岩波書店	オリンピック・パラリンピックの意義を学ぶための基礎知識。
ぴあ東京2020観戦予習ガイド		ぴあ	観戦が楽しくなるように競技の見どころを紹介。
英国人から見た日本サッカー	シヨン・キャロル	カンゼン	日本各地取材してきた英国人サッカージャーナリストが、英国フットボールとの違い、日本サッカーの素晴らしい側面や課題について語る。
外国人が見た日本	内田宗治	中央公論新社	明治から今日まで、日本の魅力はいったいどこにあるのか、誰がどう発見し、アピールするのかを追う。
英語で伝える日本の観光・日本の文化	山口百々男	三修社	外国人旅行者に日本の文化や歴史・伝統について正しく伝えるための知識と英語力が同時に学べる。
観光公害	佐滝剛弘	祥伝社	オーバーツーリズム＝観光公害について学ぶ。